

CASBEE® 大阪みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

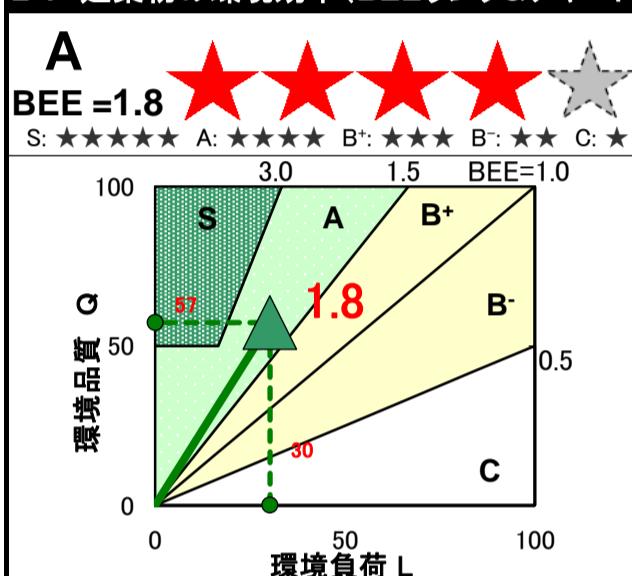
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)旭区大宮4丁目 計画	
建設地	旭区大宮4丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	リバー産業(株)	
設計者	(株)日企設計	
敷地面積	2,182.14	m ²
建築面積	620.18	m ²
延床面積	8,085.11	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上20階
完了年(予定)	2025年8月	

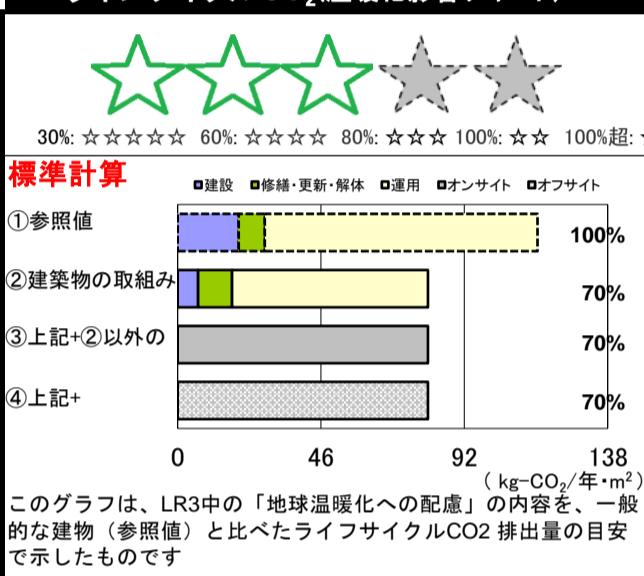
1-2 外観



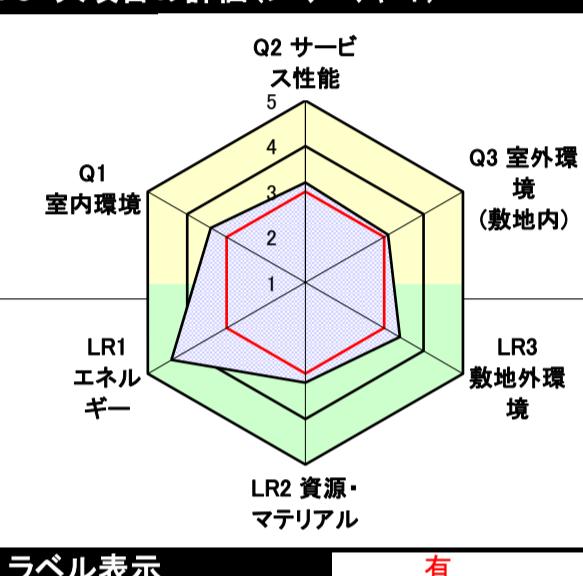
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

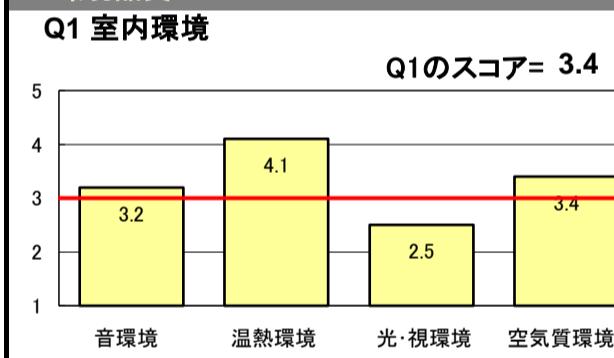


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

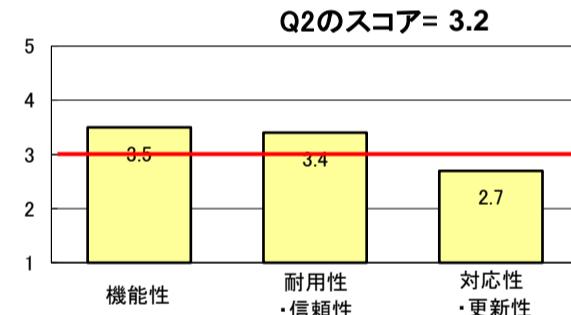


2-4 中項目の評価(バーチャート)

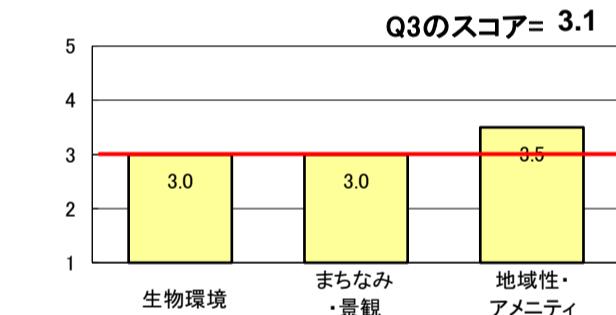
Q 環境品質



Q2 サービス性能

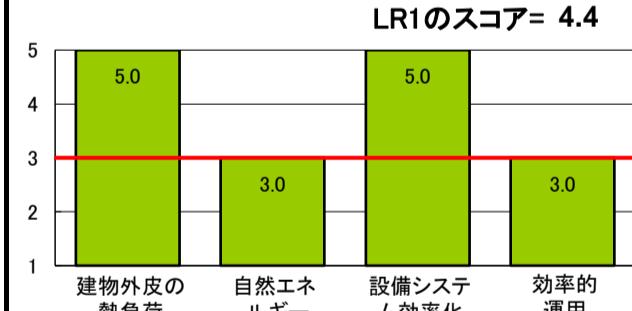


Q3 室外環境 (敷地内)

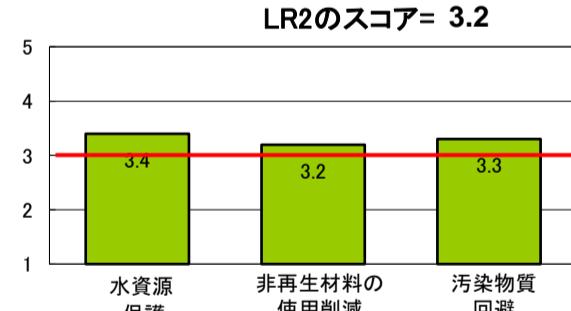


LR 環境負荷低減性

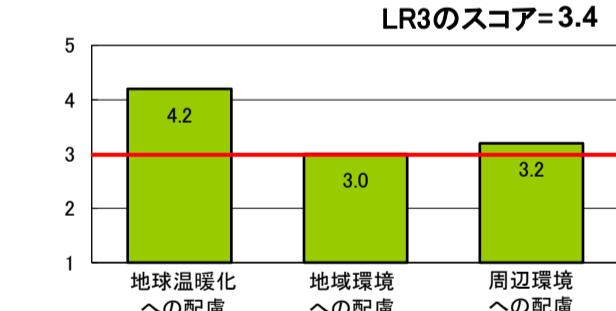
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

建物全体の断熱性能の向上や設備システムの高効率化を図り、省エネルギー性に配慮。また、敷地内条件に応じた緑地づくりを行い、多種の樹木を生かすことで植栽の緑視率を高め、豊かな景観を創出。居住者が快適に過ごすことができるよう、より良い室内、室外の環境形成に努め、さらに、建物の長寿命化を図ることで地球温暖化にも配慮している。

その他

特になし

Q1 室内環境

建物全体の無断熱箇所を無くし、Low-E複層ガラスや熱伝導率の低い断熱材の採用により高い断熱性能を有することで、温熱環境の向上を図っている。また、開口部の遮音性能を高め、F★★★★の建築材料をほぼ全面的に使用し、自然換気が可能な開口部を各住戸に設置し、空気室環境に配慮した。

Q2 サービス性能

各住戸にGbitクラスのインターネットを引き込み、機能性を向上させている。また、建築基準法に定められた25%増の耐震性を有し、住宅性能表示基準で劣化対策等級3を取得、耐用年数の長い建物とした。

Q3 室外環境 (敷地内)

多数の樹木を植えるなどして広い緑地づくりを行い、建物利用者や地域住民の憩いの場所を提供することで、地域性・アメニティへの配慮を行っている。

LR1 エネルギー

建物全体の無断熱箇所を無くし、Low-E複層ガラスや熱伝導率の低い断熱材の採用により高い断熱性能を持たせ、建物外皮の熱負荷抑制に努めている。また、各住戸に高断熱浴槽や、LED照明などの高効率設備の採用により設備システムの高効率化を図っている。

LR2 資源・マテリアル

各住戸に節水型水栓や節水型便器を採用し、水資源保護に配慮している。また、ノンフロン断熱材の採用やリサイクル材を使用し、資源の有効利用を心がけた。

LR3 敷地外環境

長寿命の躯体や高効率な設備により、ライフサイクルCO₂の排出を抑制し、地球温暖化に配慮をしている。また、適切な駐輪場台数を配置し、管理用車両の転回スペースを計画、屋外広告物照明の設置は行わないなど、敷地外環境に配慮した。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示

大阪市建築物環境性能表示

総合評価 ★★★★☆



評価は、CASBEE大阪みらいを利用した建築主の自己評価結果です。竣工後3年間有効。
「CASBEE 大阪みらい 新築」2018年版 受付番号 令和5年度 №125

環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	4.2
配慮事項	長寿命の躯体や高効率な設備により、ライフサイクルCO2排出率=70%以下を抑制している。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 / 3.2/ 敷地内温熱環境の向上	4.0
LR3/ 2 / 2.2/ 温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内条件に応じた緑地づくりを行っている。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	建物全体の無断熱箇所を無くし、Low-E複層ガラスや熱伝導率の低い断熱材の採用により断熱性能の向上を図っている。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明などの高効率設備の採用により設備システムの高効率化を図っている。

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)
外皮性能等級4を超える (相当)

非住宅部分[BPI][BPIm]

-

建物全体[BEI][BEIm]

住宅部分[BEI]

非住宅部分[BEI][BEIm]

一次エネルギー消費量 0.67

0.67

-